

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	令和３年度 第６回高松市在宅医療介護連携推進会議
開 催 日 時	令和４年３月９日（水）１９：００～２０：００
開 催 場 所	オンライン開催
議 題	１ 退院支援・医療介護連携部会 ２ 在宅医療コーディネーター部会 ３ 多職種連携部会 ４ ICT 部会 ５ 高松市在宅医療支援センターの報告 ６ 令和４年度事業計画 ７ その他
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上 記 理 由	
出席委員	２０人 吉澤委員長、大原職務代理、大橋委員、橋本委員、花房委員、片山委員、北代委員、 香西委員、田中（昌）委員、田中（邦）委員、辻委員、中村委員、永岡委員、林委員、 井上委員、古川委員、松本委員、三橋委員、三宅委員、和田委員
関係者	市医師会事務局（５人） その他：医師会（伊藤会長、綾田理事）
傍 聴 者	０人
担当課及び連絡先	長寿福祉課 地域包括ケア推進係 ８３９－２３４６ 在宅医療支援センター ８３９－２３４４ 介護保険課 ８３９－２３２６ 地域包括支援センター ８３９－２８１１ 保健医療政策課 ８３９－３８０５

協議経過及び協議結果

1 退院支援・医療介護連携部会

Q 委員より報告

○令和4年度の事業計画

- ・ 部会： 2 か月に 1 度開催(偶数月)
- ・ ミーティング：第 1 回目を 5 月 1 4 日(土)予定。具体的な意見をいただきながら検討。
- ・ 入退支援ルール：半年毎の定期的な見直しと検討内容の周知。

A 委員より

・K-MIX Rに関するアンケート調査が来ている。K-MIX Rを使って情報共有するために、それを見られる環境を整える必要がある。現在は、医療機関と一部の薬局にしかない。将来的には、何らかの形で情報共有する必要がある。K-MIX R＝香川県あるいは香川県医師会と考えたらよいと思うが、情報共有をしていきたいという思いがある。高松市として、今あるものをブラッシュアップしながら、なお一層

の検討をしていきたい。

2 在宅医療コーディネーター部会

C 委員より報告

- ・第5回在宅医療コーディネーター養成研修(1/)について報告した。
- ・第6回養成研修終了証授与式・公開講座：3/20(日)10時～12時 Zoomでの開催。修了証・在籍証・バッジの受け渡し等今後検討。各委員にはオンラインで参加していただきたい。

3 多職種連携研修部会

B 委員より報告

- ・令和3年度多職種連携研修会(2/11)の報告
- ・2月11日(金・祝) Web開催 紅谷先生の講演後、グループワーク実施。

吉澤委員長

- ・100人以上参加してくれて、反響も大きいので、内容にもこだわり今後、このレベルを落とさないように、来年も計画して行ってほしい。

4 ICT部会

事務局

《在宅ケア便利なびの情報更新について》

- ・令和4年3月1日から地域包括支援センターサブセンター仏生山開設に伴う担当地区の変更。

《在宅医療介護情報サイトの情報更新について》訪看・ケアマネタイムの更新及び新規登録

※事務局で、既に修正・登録し、事後承認となることについて、了承を得た。

5 在宅医療支援センターの活動報告

(1)新規採用職員紹介 2月1日より採用された職員の紹介。

在宅医療支援センターより、1月・2月の活動報告

(2)月間活動報告

【相談件数】1月：12件、2月：12件

- ・出前講座について、まん延防止等重点措置の適用期間のため中止となった。

6 令和4年度 事業計画

事務局

・『事業項目(ウ)切れ目のない在宅医療等在宅と在宅介護の提供体制の構築推進』：現状分析・課題抽出・施策立案に追加。退院支援・医療介護連携部会が担当する事業内容となる。

・『事業項目(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援』の事業内容：在宅医療コーディネーター連携研修について、実際に活動しているコーディネーターの現状や今後活躍の場を広げられるように、活動状況の把握、支援の方法等について検討することを追加。

・『事業項目(エ)医療介護関係者の情報共有の支援』の事業内容：

＊入退院支援ルールの周知啓発について、内容の見直し、検討内容の周知を追加。

＊多職種連携のためのSNSサービスの導入について、将来的なICT導入に向けて、他市等の情報を収集しながら検討をしていくことを追加。

A 委員

- ・コロナの影響により変更を余儀なくされることもあるかと思うが、計画どおり事業を進めてほしい。
- ・新しい企画案などあれば、事務局へ申し出てほしい。

7 その他

- ・日本臨床皮膚科医会の在宅医療委員会委員長から、香川県の皮膚科医が在宅医療でどれだけ貢献できるか、在宅医療ができる皮膚科医の人材育成を目的として、皮膚科医のニーズ、現状で幾つの施設が参加しているか、アンケート調査の依頼があり、いくつかの職能団体をお願いした。結果は後日発表した。

- ・委員の推薦依頼 各団体へ依頼文を送付済み 3/23(水)締切 提出依頼

○次回の会議日程 令和4年5月11日(水)19:00～ 高松市医師会